

# 鳥取県倉吉市 中心市街地活性化基本計画

【2期計画：令和2年4月～令和7年3月】

- ・室町後期、地元の国人南条氏によって本格的な城下町が形成。江戸時代、池田藩の家老の陣屋町として明治維新まで職人、商人の町として発展。
- ・美しい日本の歴史風土100選に選定された伯耆国の国庁跡、国分寺跡、陣屋町、倉吉の街並みがあり、白壁土蔵群・赤瓦周辺の街並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定。
- ・平成17年に東伯郡関金町を編入合併。人口47,199人(H31.1月住民基本台帳)、面積272.06km<sup>2</sup>。

## 【前期計画(平成27年7月～令和2年3月)の概要】

- 観光誘客拠点である円形校舎活用事業、商店街活性化拠点である旧ナショナル会館跡地整備事業(H30)等の中心市街地の活性化に資する施設整備を実施
- H28鳥取中部地震の影響により人口減が続くなど賑わいの低下が続いている

## 【中心市街地が抱える課題】

### ○人口減少及びコミュニティの衰退

生産年齢人口の減少による経済生産力の低下、高齢者の増加にともなう福祉需要の増加及びコミュニティの弱体化への対応が急務

### ○観光来街者数の伸び悩み

観光等による来訪者数も伸び悩む傾向にあり、従来からの観光施設及び新たに整備した施設の双方連携による、新たな観光集客策が必要

### ○空き家・空き店舗の増加

建築物の老朽化が進み、空き家や空き店舗の増加により、防災・防犯上の問題が顕著になりつつあるため、空き店舗空き家を活用した新規創業に対する対策が必要

## 【課題の原因】

- ①H28鳥取中部地震の影響による人口社会減及び空き家・空き店舗の増加
- ②不測の事態による「小川記念館整備事業」等のハード整備の遅れ
- ③ハード整備の遅れに伴い、それらを連携させるためのソフト事業が未着手

## 【目指す中心市街地の都市像】

**みんなで進める復興と福興 ～レトロとクールとの融合により新たな活気とにぎわいの溢れるまち～**

**みんなで積極的に住みたく  
なる暮らしの賑わい再生を目指すまち**

### 【主要事業】

- ・リノベーション居住推進事業
- ・打吹回廊活用事業
- ・パークスクエア・バス通り沿線地区 暮らし・にぎわい再生事業
- ・くらしよし居住環境整備事業 など

**歴史的資源とポップカルチャーを  
活かし観光おもてなし力の向上を目指すまち**

### 【主要事業】

- ・小川家整備活用事業
- ・円形劇場くらしフィギュアミュージアム活用事業
- ・鳥取県立美術館整備推進事業
- ・倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業

など

**多種多様なビジネスが活性化し  
地域の商業活動の発展を目指すまち**

### 【主要事業】

- ・地域の暮らしを支える商店街づくり事業
- ・倉吉銀座商店街振興組合活動拠点整備事業
- ・既存ストック活用起業推進地域連携事業
- ・倉吉駅周辺チャレンジショップ整備事業
- ・地域住民学生向け商業複合施設整備事業 など

## 【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 <small>※()は目標値の達成見込</small>
誰もが持続的に住みたく なる暮らしやすい生活環境を 備えたまち	中心市街地全体の 人口の社会増減 (人)	△121人 (H21～26)	±0人 (H27～H32)	△75人 (H27～H31)
歴史的・文化的資源を活 かした回遊型観光のまち	中心市街地における 観光入込客数 (人)	375,500人 (H25)	421,400人 (H31)	320,485人 (H29)
小規模でも高付加価値な 事業活動を創出するまち	中心市街地における 創業事業所数 (件/年)	平均5件/年 (H21～H25)	平均8件/年 (H27～H31)	平均7件/年 (H27～H30)

## 【新計画目標】

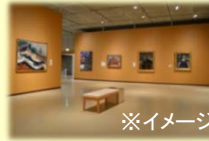
目標	目標指標	基準値	目標値
みんなで積極的に住みたく なる暮らしの賑わい再生を 目指すまち	中心市街地全体の 人口の社会増減 (人)	△177人 (H26～R1)	±0人 (R2～R7)
歴史的資源とポップカルチャー を活かし観光おもてなし力 の向上を目指すまち	中心市街地における 観光入込客数 (人)	383,300人 (H30)	421,400人 (R6)
多種多様なビジネスが活 性化し地域の商業活動の 発展を目指すまち	中心市街地における 創業事業所数 (件/年)	平均6.8件/年 (H27～H30)	平均10件/年 (R2～R7)

※観光入込客数については「赤瓦一号館」「赤瓦八号館」「倉吉博物館」「倉吉淀屋」「鳥取二十世紀梨記念館」「円形劇場くらしフィギュアミュージアム」の6施設を計測対象とする。

# 倉吉市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## みんなで積極的に住みたく暮らしたい賑わい再生を目指すまち

①パークスクエア・バス通り沿線地区暮らし・賑わい再生事業  
鳥取県立美術館に併設の各種交流イベント等に活用できるホールやギャラリー等の施設整備を行う。



②くらしよし居住環境整備事業  
旧工場跡地を活用し医食住に関わる施設の整備を行い高齢者をはじめとする地域住民にとって便利な生活環境を提供。



③打吹回廊活用事業  
商店街活性化拠点を活用し商店街及び地域関係者の協働により多彩なコミュニティイベントを開催し地域の魅力の向上を図る。



④リノベーション居住推進事業  
移住相談窓口の設置、移住初期経費及び家賃の補助等を実施し、空き家を事務所、店舗、住宅等へ再生することにより、移住定住の促進を図る。



## 歴史的資源とポップカルチャーを活かし観光おもてなし力の向上を目指すまち

⑤小川家整備活用事業  
江戸時代からの酒造であった小川家(県文化財指定)を改修、庭園の復原整備を行い、展示機能を有した集客施設として整備する。



⑥倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業  
中心市街地に位置する古民家、旧店舗といった歴史的資源を活用し、地域の観光、宿泊拠点を整備する。



⑦円形劇場くらしフィギュアミュージアム活用事業  
国内現存最古の円形校舎を活用し整備したフィギュアミュージアムにおいて地域と連携した各種集客イベントを実施する。

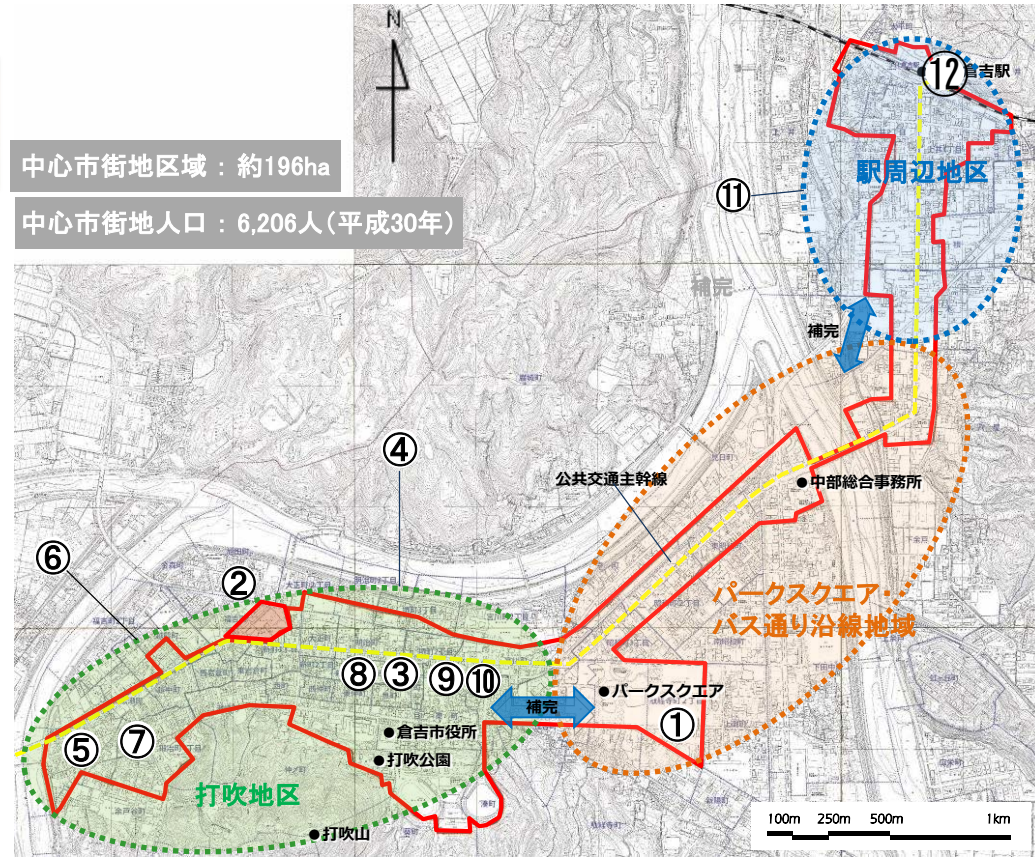


⑧倉吉ひなビタ♪応援団加盟店連携おもてなし事業  
中心市街地内の商店主等で構成されたひなビタ♪応援団により観光客・地元住民に向けた多彩な催事を実施し交流人口の増加を図る。



中心市街地区域：約196ha

中心市街地人口：6,206人(平成30年)



## 多種多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち

⑨倉吉銀座商店街振興組合活動拠点整備事業  
市内唯一の商店街組織において加盟店が連携した活動を行うための拠点を整備する。



⑩地域の暮らしを支える商店街づくり事業  
高齢者にも暮らしやすい中心市街地の居住環境を形成するため商店街の空き店舗を利用した生活利便施設の設置やコミュニティスペースを設置する。

⑪倉吉駅周辺チャレンジショップ整備事業

⑫地域住民学生向け商業複合施設整備事業  
倉吉駅周辺においてエリアの担い手となる若手創業者を育成していくための店舗を整備する。

